

——読書・文学にあつては、
絵画音楽の場合のような無関心でいられるわけではない。
自身で読まないことにはお話にならないからだ。
それは自分の自由と時間を犠牲にすることである。
故に文学とは「暗いおもちゃ」である。
——稲垣足穂「男性における道徳」



【工作舎40周年ベスト40+10】 オブジェ 本は暗い・玩具である



●工作舎は、2011年4月、
おかげさまで40周年を迎えました。

●ジニルを超えたオブジェ・マガジン遊の創刊に始まり、
本の真ん中に孔のあいた人間人形時代を刊行した70年代、
「本は暗いおもちゃである」が工作舎のシボル・フレーズでした。

工作舎40周年ベスト40+10
本は暗い・玩具である
2011.10



●80年代は、カフ・タオ自然学、「ワトソン」『生命潮流』、
ケベラー『ボロン革命』など、ニール・エイジサイエンスの主導を刊行。
●そして、40周年を迎えた工作舎の基盤となっています。

90年代の「ライフ・ツ」著作集全10巻は、現在までの工作舎の基盤となっています。

「本は暗いおもちゃである」の言葉「スタートします」。

「本は暗い玩具である」

——私にだって、文学書は暗いおもちゃであらうが、
同時に非常にハイカラーな玩具である。

そのページから重が匂っている紙製のオブジェである。

——稲垣足穂「男性における道徳」



【工作舎40周年ベスト40+10】

●30年余を超えるロングセラーから好評の新刊まで、あらたにセットしました。4つの匣の中に、今こそ読みたい本の出会いがきっとあるはずです。

思考をリセットする匣

時代を画した著者の思想は、いつでも新たな発見がある。工作舎のロングセラー。

- タオ自然学 ———— F・カブラ／2,310円
- 廃棄の文化誌 ———— K・リンチ／3,360円
- 身体化された心 ———— F・ヴァレラ他／2,940円
- 自己組織化する宇宙 ———— E・ヤンツ／3,360円
- 素粒子の宴 ———— 南部陽一郎＋H・D・ポリツァー／1,260円
- 精神と物質 ———— E・シュレーディンガー／1,995円
- 自然学曼陀羅 ———— 松岡正剛／1,890円
- ライブニッツ術 ———— 佐々木能章／3,990円
- テスラ ———— M・チェニー／3,780円
- 無限の天才 ———— R・カニーゲル／5,775円

生命を考える匣

3.11以降、いまこそ地球上の生きとし生けるものの意味を問い直したい。

- 植物の神秘生活 ———— P・トムキンズ他／3,990円
- 花の知恵 ———— M・メーテルリンク／1,680円
- 蜜蜂の生活 ———— M・メーテルリンク／2,310円
- 生命潮流 ———— L・ワトソン／2,310円
- 鳥たちの舞うとき ———— 高木仁三郎／1,680円
- 地球生命圏 ———— J・ラヴロック／2,520円
- 生命のニューサイエンス ———— R・シュドレイク／2,310円
- 感性情報学 ———— 原島博＋井口征士＝監／2,940円
- カオスの自然学 ———— T・シュベンク／2,520円
- 個体発生と系統発生 ———— S・J・グールド／5,775円

書物と遊ぶ匣

本好きに捧げます。コンテンツはもちろん装幀や本文レイアウトにも心を尽くして。

- キルヒャーの世界図鑑 ———— J・ゴドウィン／3,045円
- ケプラーの憂鬱 ———— J・バンヴィル／2,625円
- 狼女物語 ———— G・マクドナルド他／2,520円
- 書物の灰燼に抗して ———— 四方田犬彦／2,730円
- 古書の森 逍遙 ———— 黒岩比佐子／3,360円
- 新・文学入門 ———— 岡崎武志＋山本善行／2,415円
- 本読みまぼろし堂目録 ———— 荒俣宏／2,625円
- 記憶術と書物 ———— M・カラザース／8,400円
- 人間人形時代 ———— 稲垣足穂／2,310円
- 宇宙を叩く ———— 杉浦康平／3,780円

想像力を編む匣

音、光、形…美しさを、楽しさを味わい、イメージをはばたかせるために。

- インプロヴィゼーション ———— D・ベイリー／2,415円
- ドラム・マジック ———— M・ハート／2,625円
- ジオメトリック・アート ———— C・シュワーベ＋石黒敦彦／4,095円
- メディア・アート創世記 ———— 坂根巖夫／3,360円
- TRA ———— タイガー立石／5,250円
- 多主語的なアジア ———— 杉浦康平／2,940円
- 茶室とインテリア ———— 内田繁／1,890円
- 表象の芸術工学 ———— 高山宏／2,940円
- 脳科学と芸術 ———— 小泉英明＝編著／3,990円
- 平行植物 ———— L・レオーニ／2,310円

〔価格はすべて税込〕

工作舎エディター『偏愛』の匣

●手がけた何冊もの本の中で、人知れずエディターがお勧めの本があります。番外篇として、エディターが偏愛する本の匣をご紹介します。



- プラニバース▶某SNSのレビューで「これまで読んだ本の中でもベスト5に入ると断言しても差し支えない」とお褒めいただいた数学SF小説。(石原)
● A・K・デュードニー／3,048円
- 英国心靈主義の抬頭▶ドアを開けた彼女に「降霊会でもして？」と問う男。霧の向こう、ジ・アザー・ワールドへ踏み込む真の力作。(田辺)
● J・オープンハイム／6,825円
- めかくしジュークボックス▶世にディスクガイドは多いけれど、これほど読んで楽しく、すぐにCDを探したくなるほどの中毒性のある本はめったにありません。(石原)
● 『ザ・ワイアー』＝編／3,045円
- 大博物学時代▶「科学は小説より奇なり！」アラマタ博物学の原点にして、奇説・妄論満載の進化論史の裏表を案内する快著。(米澤)
● 荒俣宏／3,360円
- 形の冒険▶イタリアン・デザイナーのバイブルになったファンタスティックな形態宇宙論。レオ・レオーニの熱烈推薦で邦訳。(米澤)
● L・L・ホワイト／2,310円
- 奇天烈紳士録▶群れない、つまらない、他人の道は歩かない。多数派の中に逃げ込んでいる平成のオタクたちに読んでほしい極上の〈紳士たち〉の物語。(堤)
● J・ミッチェル／2,625円
- 超人の午餐▶「幸福を欲しがるのは能力のない連中だけだ！」グルジェフの弟子が放つスーパー・スピリチュアルな暴言小説。(米澤)
● L・ボーウェル／1,680円
- ガラス蜘蛛▶「自然と人間」を問うたび、ミスグモの息を確認してしまう。今の日本の一粒の空気の部屋は快適だろうか。(田辺)
● M・メーテルリンク／1,890円
- 経済の誕生▶富とは何か？ いかにもたらされるのか？ポスト市場主義経済を考えるヒント満載の一冊です。(十川)
● 小松和彦＋栗本慎一郎／1,529円
- 不死テクノロジー▶傲慢ながら、痛快！不死を求め、時空の限界を超え、宇宙の救世主た然とする科学者たちの物語。(十川)
● E・レジス／2,625円



〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12
新宿ラムダックスビル12F
TEL : 03-5155-8940 FAX : 03-5155-8941
<http://www.kousakusha.co.jp/>
saturn@kousakusha.co.jp

●チェック欄としてお使い下さい。